

## 施策5

## 「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進

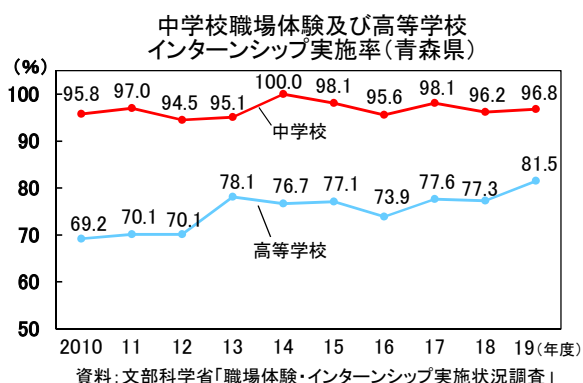
小・中・高等学校から大学等そして就職までのつながりや将来の生き方を意識したキャリア教育を社会全体で推進し、社会的・職業的自立のために必要な能力・態度を育成します。

地域や大学・企業等と連携し、子どもや若者の地域に対する貢献意欲の向上や創造力の育成を図るなど、県内定着促進も意識したキャリア形成支援に取り組みます。

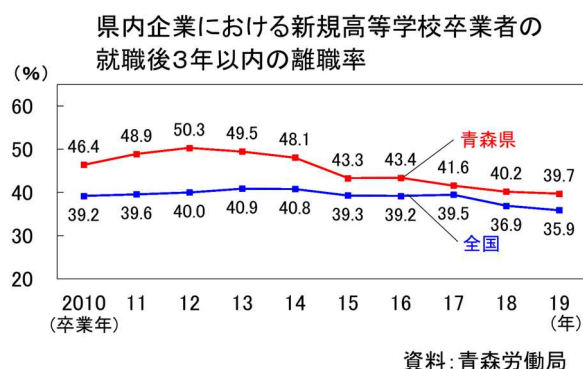
## ■2022(令和4)年度の取組・成果

- 高校生が社会人・職業人として自立し、職場で活躍できる実力（仕事力）を養成するためのインターンシップやビジネスマナー講習会等を実施しました。
- 高校生の県内定着促進や、持続可能な青森県を創造できる人材の育成に向けて、地域資源や人材を活用して、高校所在地域及び自身の居住地等について理解を深める学習「あおもり創造学」で推進校26校の生徒が地域課題の解決等の研究に取り組み、ふるさとに貢献する意識の醸成につながりました。また、県立高等学校12校に就職支援員を配置し、生徒との進路相談や県内求人開拓等を行いました。
- 青少年が自己肯定感を高め、主体的に行動できるようにするため、異年齢交流や学校外学修のためのプログラムを提供するとともに、中学生及び高校生が自らの夢に向かって主体的に行動できるよう、チャレンジする心を育むためのワークショップを実施しました。

## ■施策の現状を表す指標の動向等

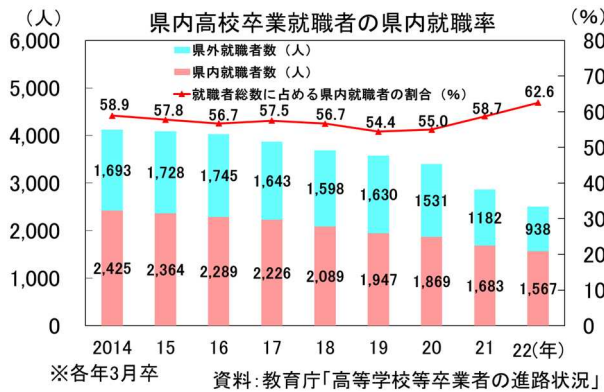


中学校の職場体験実施率は横ばい、高等学校のインターンシップ実施率は上昇傾向となっています。



県内企業における新規高等学校卒業者の就職後3年以内の離職率は、2012年3月卒から減少傾向となっていますが、全国平均よりは高くなっています。

5 「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進



高等学校卒業就職者の県内就職率は、2020年3月卒以降上昇傾向にあります。

■ 主な課題と今後の取組の方向性

主な課題	今後の取組の方向性
<p>社会人・職業人としての自立に向けて必要な資質・能力を育成するための取組を継続して行う必要があります。</p>	<p>キャリアパスポートを活用し、就職や将来の生き方等ライフプランを意識した系統的なキャリア教育を推進し、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立を促します。</p>
<p>子どもたちが主体的に行動し、たくましく生きるための様々なスキルを身に付けるため、様々な学習機会の充実に努めるほか、子どもたちのキャリア形成を支援する必要があります。</p>	<p>学校外学修の奨励や異年齢交流の実施等により、青少年のキャリア形成を支援します。</p> <p>出前授業や職場体験受入れ等学校における教育活動の支援に取り組む企業等を登録・紹介している「青森県教育支援プラットフォーム」の活用を促進し、本県キャリア教育の充実を図ります。</p>
<p>県内企業における新規高等学校卒業者の早期離職率は全国平均と比べ依然として高く、生徒の職業観、勤労観の醸成と、雇用のミスマッチを減らす取組が必要です。</p>	<p>キャリア形成講座等の各種研修会、キャリアパスポートを活用し系統的なキャリア教育を進めるほか、職場体験・インターンシップ等に取り組み、社会人・職業人として必要な資質・能力の育成を図ります。</p> <p>また、就職支援員の配置や関係機関との連携等により、県内求人開拓や県内企業と学校の相互理解促進等に取り組みます。</p>

## (参考) 2022(令和4)年度における県教育委員会の主な事業の取組状況

## 1 県立学校就職促進関連事業【学校教育課】 1,181千円

取組状況	<p>高校生の主体的な職業意識を醸成し、生徒と事業所等との相互理解を促進するため、経済団体、保護者、行政及び教育関係者が就職問題について共通理解を図るとともに、求人確保の方策等について協議を行うため高等学校就職促進連絡会議を開催した。</p> <p>特別支援学校においては、高等部生徒627人が産業現場等における実習を行い、職業意識を育んだ。</p>
------	---

## 2 仕事力養成推進事業【学校教育課】 2,018千円

取組状況	<p>高校生が社会人・職業人として自立し、就職後に職場で活躍できる実力(仕事力)を養成するため、インターンシップ(13校、体験生徒数1,004人)やビジネスマナー向上のための講習会(16校)、県立高等学校教諭の企業等への1年間の派遣等を実施した。</p>
------	---

## 3 高校生の就職総合支援プロジェクト事業【学校教育課】 13,745千円

取組状況	<p>高校生の就職支援を強力に推進するため、キャリア形成講座(25校54講座)・研修会(9校10講座)に延べ1,908人の生徒が参加した。また、介護員養成講習会(受講者数45人)、先進技能習得研修(9校の教員が参加)などの生徒の資格取得につながる研修等を行った。</p>
------	---

## 4 持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業【学校教育課】

47,904千円

取組状況	<p>高校生の県内定着促進や、持続可能な青森県を創造できる人材の育成に向けて、地域資源や人材を活用して、高校の所在地及び自身の居住地域等について理解を深める学習「あおもり創造学」で推進校26校の生徒が地域課題の解決等の研究に取り組み、ふるさとに貢献する意識の醸成につながった。また、県立高等学校12校に就職支援員を配置し、生徒との進路相談や県内求人開拓等を行った。</p>
------	--

## 5 産業教育の推進・人財育成事業【学校教育課】 30,300千円

取組状況	<p>令和4年10月に参集型で第32回全国産業教育フェア青森大会を開催し、高校生による地元産業の研究などの成果を披露した。全国47都道府県から329の専門高校等の参加があり、来場者数は延べ10万2千人となった。本県の産業教育を学ぶ生徒の素晴らしさ、学習内容のおもしろさ、本県の産業の魅力等を県内外にPRすることができた。</p>
------	--

6 青森で生きる未来人財育成事業【生涯学習課】 572千円

取組状況	高校生を対象に青少年が自己肯定感を高め、主体的に行動できるようにするためのオンライン講座を実施（受講申込者数232人）し、コミュニケーションやレクリエーションについて学んだ。また、ボランティアチームに高校生51人が登録した。（総合社会教育センター）
------	--

7 大学生とカタル！キャリア形成サポート事業【生涯学習課】 660千円

取組状況	中学生及び高校生が自らの夢に向かって主体的に行動できるよう、コミュニケーション、コーチング等の研修を修了した大学生延べ723人によるワークショップを県内の高等学校17校、中学校1校で実施し、高校生1,990人、中学生53人が参加した。また、大学生に対しては基本研修（受講者143人）等を実施した。（総合社会教育センター）
------	--

8 高校生スキルアッププログラム推進事業【生涯学習課】 63千円

取組状況	高校生の知識や経験の幅を広げ、様々なスキルの向上を図るため、学校外における学修への取組を促進した結果、26校4,424人がプログラムに参加し、うち60人に対し、プログラム修了の認定証を、35人に奨励証を交付した。（総合社会教育センター）
------	--

9 青森から世界に向かってチャレンジするグローバル人財育成事業【学校教育課】  
3,206千円 （施策1に掲載）

10 医師を志す高校生支援事業【学校教育課】 14,826千円 （施策2に掲載）

11 特別支援学校技能検定事業【学校教育課】 2,768千円 （施策3に掲載）

12 「地域の思いをつなぐ」若者育成事業【生涯学習課】 3,257千円 （施策7に掲載）

13 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業【生涯学習課】 1,581千円 （施策7に掲載）